

令和6年度 第1回(第24回)外部アドバイザー委員会報告書

1 開催日時 令和6年8月23日(金) 13時30分～15時30分

2 開催場所 倉敷市立短期大学 大会議室

3 出席者

(1) 委員 出席5名

山本委員、津田委員、池葉須委員、海本委員、江島委員

(2) 教職員 出席9名

安達学長、小久保保育学科長、岩崎服飾美術学科長、大原図書館長、
家守事務局長、西中事務局長代理、眞次学生部長、松内学生部主幹、
福田会計年度任用職員

(3) オブザーバー 出席1名

石田企画経営室長

4 次第

(1) 安達学長挨拶

(2) 報告・審議事項

(3) 意見交換

(4) その他

次回委員会開催時期について

5 外部アドバイザー意見

○ 意見1

服飾美術学科の入学減少対策としては、経験から、手段を選ばずに良いと思ったことはやったほうが良いと思います。例えば、服飾美術学科に合っていると思うやり方は、オープンキャンパスで、今、学んでいる学生が個別対応するようなプレゼンで、先輩が何をしているかがわかるとと思います。またオープンキャンパスでOBとかOGの方からも話を聞けるという話がありましたが、それについてはぜひ実行していただきたいと思います。

今の中学校の家庭科の授業は、株なども教えるような生活環境、一般的なものになっているので、保育の実習はありますが洋服を作ることはありません。これでは服飾美術学科の入学者が減るのも無理はないと思います。小・中学校で物を作っておもしろいという体験があれば、服飾美術学科に興味をもってもらえるのではないかと思います。倉敷市でも小学校・中学校・高校くらいで物作りをするイベントがあればおもしろいですし、何年かかるかわかりませんが、それが服飾美術学科に来てくれるきっかけ作りになるかもしれません。また、高校生以外の一般の人にも服飾美術学科がやっていることや卒業生が頑張っているということをPRする場があれ

ば良いと思います。

○ 意見2

服飾美術学科については、色々なことを工夫しようとしてくださっており、本当にありがたいと思います。検討中とのことですが、入試方法の見直しにより選抜方式が多様化すれば、高校側としてはありがたく、ぜひ実現していただきたいと思います。

また、両学科とも家庭科技術検定の資格を取得した高校生には、入試でいくらか有利に働くように配慮をお願いできればと思います。

○ 意見3

令和10年の市街地移転は、市立短大にとって大きな飛躍の年になると考えます。教育内容の変更や学科編成など、踏み込んで考える良い機会ではないかと思います。

○ 意見4

短大のPRを兼ねて、広報くらしきに専門の先生たちの素晴らしい話が一般の人にも伝わるような短大のコーナーを設けてはいかがでしょうか。毎回の掲載は難しいと思いますが、移転に向けての話題など、年に数回でも掲載の機会があればと思います。他にも、地域紙に寄稿するとか、やっているとは思いますがホームページでPRするなど、他のやり方も検討してみてもいかがでしょうか。